

令和3年度大阪府立りんくう翔南高等学校

第2回学校運営協議会 議事録

日時	令和3年11月29日（月）	14時45分～15時45分			
場所	2号館2階	会議室			
出席者(委員)	大泉会長	岩瀬委員	岡崎委員	田中委員	寺脇委員
(学校)	長岡校長	田中教頭	運営委員会メンバー		初任教員

議題等

連絡および報告

(1) 府立高校再編整備計画について（校長）

本校校長より府立高校再編整備計画について報告。府立高校全体の動きや、泉鳥取高校が本校に機能統合となり、令和5年度以降の入学募集を停止することについて概要を説明。

機能統合の意味や目的を示しながら、泉州地域の中核高校をめざすことなどについて説明。

(2) 令和3年度の進路決定状況についての中間報告（進路指導部）

進路部長より、11月上旬時点での進学、就職希望者別の進路決定状況や、生徒の希望する分野や業種について説明を実施。コロナ禍の影響などにも触れて説明。

進学では推薦制度等を活用する生徒が多いこと、就職では9月15日解禁の一次採用試験で合格してくる割合が昨年度より10%以上下がったことなどについて報告。

(3) 保健室来室、スクールカウンセラー利用状況について（生徒保健部）

コロナ禍にかかり、保健室への健康にかかる来室や、健康以外の心的要因に起因する事象の相談の増加や傾向について説明。また、スクールカウンセラーの活用状況について、1年生徒の相談が増加している傾向や事例を挙げて説明。

(4) 生徒の状況について（生徒指導部）

今年度は、通常通り4月から新学期が始まったことで、一昨年度と同等の遅刻者が出るという予想に反して、遅刻、欠席ともに大きな変化がないことなどについて報告。一方、授業中のトイレ退室が増えていることや、SNSに関わるトラブルの増加や登下校時のマナーが喫緊の課題との説明。

(5) オンラインによる国際交流事業（首席）

今年度12月に予定している、香港にある高級中学校とのオンラインによる国際交流について説明。コロナ禍により、相互の訪問が不可能なため、互いの国の文化や、学校の特色などを伝えあう内容について説明。

(6) 生徒一人一台端末の活用開始について（首席）

今年度、生徒一人に1台貸与されている chromebook の導入について説明。スマートフォンを使い慣れている生徒でも、ログイン段階で戸惑う様子があり、更に家庭での Wi-Fi 接続にも混乱があったことや、セキュリティ、個人情報について保護者にも同意を求めていることなどについて説明。

委員からのご意見

- ・進路状況について、推薦制度を活用する制度が多いとのことであるが、大学に必要な基礎学力を高校の段階で身につけることが前提となる。一般入試で大学入試に臨む生徒も育ててほしい。
- ・国際交流では、学校の特色を積極的に伝えることが広報にもつながると考える。子ども世代が減少する中で今後広報の活動も重要である。
- ・就職指導を行う中で、これまでも PTA も講師を手配するなど協力してきた。コロナ禍で今年度は、PTA がかわる進路講演は中止になったが、次年度以降は開催したいと考える。